

県名	熊本県	商工会名	菊池市商工会
事業者名	㈱トリニティコーポレーション(店舗名:ASANISIMASA)		
題名	閑散期活用・文化財のカフェで叶える小さなウェディング		
			
店舗外観			

氏名	田代 晶大
支援テーマ	
☐	創業
☐	経営革新・事業再構築
☐	地域資源活用・新連携
☐	農商工連携・6次産業
☒	販路拡大・販路支援
☐	海外展開・海外販路開拓
☐	事業再生・再チャレンジ
☐	事業承継
☐	ものづくり
☐	雇用・労務関係
☐	資金繰り
☒	持続化補助金
☐	DX・IT化支援
☐	価格転嫁
☐	事業継続計画(BCP)
☐	その他

支援前の課題	※複数のテーマ選択可																					
当社は2016年8月創業。2021年に廃業した元内科の建物を、古き良き時代の風情を残してリノベーションして2022年から自家焙煎の珈琲とスイーツの古民家カフェを開業した。築90年を超える国指定の登録有形文化財の元内科の建物が話題を呼んだが、スイーツと軽食のみの提供では売り上げが伸び悩んでいた。2024年6月からシェフを採用しランチの提供を始め現在3期目である。ランチメニューの充実やSNSによる情報発信により、着実に来店数が増え2024年7月からの売上平均は前年比150%となり低迷したカフェの売上を押し上げてきた。 それに伴い繁忙期に対応するためパートから正社員への雇用を進めてたことで固定費が増加。現在年間を通し繁忙期と閑散期の差が激しい状況であり、閑散期における新たな収益の確保が課題である。																						
<table><thead><tr><th>月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr></thead><tbody><tr><td>売上</td><td>15000</td><td>18000</td><td>20000</td><td>18000</td><td>16000</td><td>14000</td></tr><tr><td>閑散期</td><td>5000</td><td>6000</td><td>7000</td><td>6000</td><td>5000</td><td>4000</td></tr></tbody></table>		月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	売上	15000	18000	20000	18000	16000	14000	閑散期	5000	6000	7000	6000	5000	4000
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																
売上	15000	18000	20000	18000	16000	14000																
閑散期	5000	6000	7000	6000	5000	4000																

支援内容	
支援内容としては、事業者とのヒアリングにより、課題を明確化し「閑散期」を解消できるような新たな取り組みを実施していくことになった。 そこで、SWOT分析により自社を見つめ直し、強みを活かした取り組みを考え出した。元ブライダルシェフが2名在職しており、そのキャリアを活かし、閑散期にウェディング事業を始めようと事業計画を作成していった。そこに3か月後、第17回小規模事業者持続化補助金の公募申請が開始されるという絶好のタイミングであり、補助金を申請することとなった。 その事業を行うために何が必要なのかを整理し、新事業に向けてのスケジュールや人的問題等について支援を行った。 今回の申請にあたっては、申請書等を自ら作成が出来るようになる支援を心がけた。10数回の相談において、相談後に事業者へ次までに考えて作成していただくように進めていった。 結果的に補助金は採択となり、今後も補助事業が効果的に遂行できるよう伴走支援を行っていく。	
	

支援の経過	支援内容の感想												
<table><thead><tr><th>期間</th><th>支援内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7年3月</td><td>ヒアリング開始</td></tr><tr><td>R7年4月</td><td>現状分析と課題の整理</td></tr><tr><td>R7年5月</td><td>課題解決に向けた販路開拓支援</td></tr><tr><td>R7年6月</td><td>持続化補助金申請支援</td></tr><tr><td>R7年10月</td><td>補助金採択後の伴走支援</td></tr></tbody></table>	期間	支援内容	R7年3月	ヒアリング開始	R7年4月	現状分析と課題の整理	R7年5月	課題解決に向けた販路開拓支援	R7年6月	持続化補助金申請支援	R7年10月	補助金採択後の伴走支援	事業者との対話から課題を抽出し、事業者自らが課題の必要性を感じ取り、その課題を解決する力を養うことが重要と思っている。「援助」は、事業者が行う事項を支援者が代わりに行うこと、「支援」は事業者が行う事項を事業者自ら出来るよう支援者が手助けすることと認識している。今後、事業者が「自走化」できるよう支援していきたい。
期間	支援内容												
R7年3月	ヒアリング開始												
R7年4月	現状分析と課題の整理												
R7年5月	課題解決に向けた販路開拓支援												
R7年6月	持続化補助金申請支援												
R7年10月	補助金採択後の伴走支援												